

産研 同窓会通信

2024年10月



WEBサイトリニューアルオープン！
新しい産研HPをぜひご確認ください

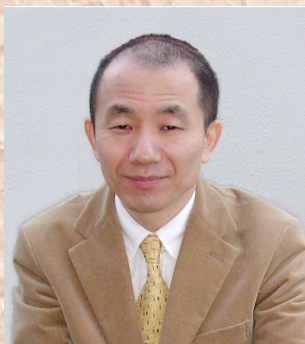
ご報告

- 退職者の紹介 ～産研での思い出～
- Facebook／Instagramの開設について
- 第15回同窓会総会の報告
- 産研の活動報告
- 卒業生紹介
- 新所長の就任について

お知らせ

- 第9回産研ホームカミングデー&第80回学術講演会(11月22日)
- 大阪大学ファミリー2024オンライン交流会(11月16日、17日、20日、21日)

産研での思い出～退職者の紹介～(2024年3月31日退職)



鷲尾 隆 教授
知能推論研究分野

1996年6月に新設の高度推論研究分野に助教授として着任しました。以来、人工知能、特に機械学習やデータマイニングの基礎研究に取り組みました。2006年8月に教授に昇任し、機械学習の応用展開研究にまで研究のすそ野を広げていきました。思えば産研で私の上司であった元田浩先生をはじめ、私の元集った若手の准教授、助教の先生方を含め、周りの大変優れた人材に恵まれたと感じています。私が機械学習の研究を強力に推進できたのは、これら周囲の人たちのおかげだと強く感謝しています。また、産研という多分野の優れた研究室が集まった環境は、非常に強力な応用展開研究を可能にし、多くの先生方と優れた研究成果を世に送り出すことができました。産研という研究環境がこれらを可能にしてくれました。28年間に亘り産研で過ごせたことを、本当に誇りに思い感謝しています。この4月からは関西大学商学部に移り、新しいビジネスデータサイエンス学部の2025年4月開講に向けた準備に力を入れています。産研でもKOBELCO未来協働研究所所長・特任教授として、さらなる産学連携に取り組んでいます。産研の発展を近くで見つめながら、社会への恩返しとして、学生の養成と産学のさらなる発展に臨みたいと思っています。



沼尾 正行 教授
知能アーキテクチャ研究分野

2003年4月に着任しましたが、産研内に同期の教授が7人も居り、「七人の侍」と称して頻りに同期会を開いていました。着任したのは知能アーキテクチャ研究分野で、機械学習などの人工知能技術と心理実験を組み合わせた研究を行いました。産研は研究室面積が広く、研究室内にゼミ室を設けて、予約なしで学生やスタッフとの議論を行い、同じ専攻の基幹講座の先生に羨ましがられたものです。東京にある前任校の研究室に指導学生が数名居りましたので、(当時は高価だった)テレビ会議システムも設置し、研究室同士をほぼ常時接続していました。ゼミ室での留学生主催の各国料理の食事会も楽しい思い出です。産研では異分野間の共同研究が活発で、新産業創造物質基盤センターやCOIプロジェクトで他分野の研究者と交流し、共同論文の執筆まで行うことができました。退職後4月からは、京都橘大学大学院情報学研究科で教えています。大学院講義や学部ゼミを担当しており、数人の学生相手の講義や議論が主です。数十人の学部生相手にオムニバスやオンデマンド講義をすることもあります。産研では戦略室の要請で招へい教授として、企業との共同研究を続け、最近、特許を二件権利化できました。他大学との臨床実験も続けています。見かけることがございましたら、ぜひお声がけください。

産研同窓会のFacebook／Instagramの開設について

このたび産研同窓会の活動の幅を広げることを目的とし、産研同窓会のFacebookとInstagramを開設しました。同窓会の皆さまへご案内したい内容や産研の行事などを投稿していきたいと考えております。皆さま、よろしければぜひフォローしてください。

Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61563000827462>

Instagram

https://www.instagram.com/sanken_dousoukai/



産研同窓会名簿管理について

産研同窓会は2006年に発足し、その後、同窓会MLでのご連絡を中心に皆さまへ各種ご案内等をお送りしておりましたが、登録いただいているメールアドレスの変更等により、送信メールがエラーで戻ってくることが大変多い状況となっております。そこで、近日中に現在のメールアドレス等を確認させていただき、同窓会名簿を整備したいと考えております。Google Formsを用いての確認を検討しており、後日改めてご案内をお送りしますので、ご了承ください。

産研同窓会総会を開催しました

2024年3月21日(木)、第15回産研同窓会総会を開催しました。今年も参集とオンラインによるハイブリッド形式での開催となりました。総会は川合会長の進行のもと行われ、役員の交代についての審議や、2023年度の活動状況報告ののち、2024年度の活動計画について意見交換がなされました。今後、会員の皆さまにいかに同窓会活動に参加いただき、現役との交流の機会を持つことができるか、産研協会との連携なども視野にいれ活動していくことが話し合われました。さまざまな行事への皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【役員リスト2024年4月1日現在】

会 長 川合 知二 名誉教授(23代所長)
副 会 長 黒田 俊一 所長(所長任期中)
小口 多美夫 名誉教授
監 事 吉田 陽一 名誉教授
増田 敏裕 元事務部長
運営委員 田川 精一 名誉教授
西嶋 茂宏 名誉教授
安蘇 芳雄 名誉教授
笹井 宏明 名誉教授
柏原 昭博 電気通信大学教授
田部 信重 元事務部長
永井 健治 教授
田中 慎一郎 準教授
大西 政義 技術室長
森田 恵美 総務課長



【2023年度会計報告】

○収 入: 262,007円
(内訳) 257,005円(前年度繰越金)
2円(利息収入)
5,000円(新規入会者/永年会費)
●支 出: 10,000円(産研フェスタ賛助金)
◇次年度繰り越し: 252,007円



「第80回学術講演会」&「第9回ホームカミングデイ」について

今年度の学術講演会・産研ホームカミングデイは11月22日(金)に開催されることとなりました。管理棟講堂において対面形式によるリアル開催となります。今年は「持続可能な産業科学」をテーマとし、京都大学生存圏研究所 矢野 浩之名誉教授/特任教授にご講演いただくこととなりました。ホームカミング特別講演会においては大阪大学の尾上 孝雄理事・副学長がご講演くださいます。18時からは懇親会も予定しておりますので、同窓会員の皆さまもぜひご参加ください。

大阪大学産業科学研究所 第80回学術講演会・第9回産研ホームカミングデイ 「持続可能な産業科学」

開催日: 2024年11月22日(金) / 会場: 管理棟1階 講堂



■ホームカミング特別講演会 / 13:00~14:10

特別講演

大阪大学 理事・副学長 尾上 孝雄
「社会に供する大阪大学の研究をめざして」

■学術講演会 / 14:20~18:00

学外講演

京都大学 生存圏研究所 名誉教授/特任教授 矢野 浩之
「木材の魅力 ~楽器から自動車まで~」

学術講演

産業科学研究所 ナノテクセンター 教授 家 裕隆
「持続可能な社会の実現に貢献する機能性有機材料の開発」

学術講演

産業科学研究所 第2研究部門 教授 坂本 雅典
「見えないエネルギー、赤外光のエネルギー資源化への挑戦」

学術講演

産業科学研究所 第3研究部門 教授 永井 健治
「自発光植物による持続可能な社会の実現に向けて」

学術講演

産業科学研究所 第1研究部門 教授 八木 康史
「歩容映像解析の深化 一本人鑑定から健康活用まで」

■ポスターセッション / 13:00~展示、18:00~発表兼懇親会

https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/pb_office/gakujutu/

産研活動報告

2023年10月～2024年8月まで



SANKEN フェスタ復活

SANKEN フェスタが復活し、モルック大会やクイズ大会などで大いに盛り上がりました。研究室が模擬店を出店し、多くの人々で賑わいました。ハロウィンの時期に開催されたため、仮装を楽しむ参加者も多く、会場全体が楽しい雰囲気に包まれていました。



imec-Handai 国際シンポジウム

第12回 imec-Handai International Symposium が産研で開催され、Chris Van Hoof imec Vice President や関野徹 産研所長による基調講演で幕を開けました。双方から多くの話題提供が行われ、総勢70名が参加しました。次回は imec 側での開催が予定されており、大阪大学は imec との良好かつ強固な連携を引き続き推進していきます。

SANKEN 大阪大学産業科学研究所
第79回産研学術講演会
第8回産研ホームカミングデイ

生成 AI と 産業科学

第79回産研学術講演会と第8回産研ホームカミングデイが開催され、OBとして元田浩名誉教授が「Social Network に魅せられて - 退職後に趣味で始めた新たな楽しみ -」をテーマにご講演くださいました。講演では、退職後の新しい挑戦や楽しみについて熱く語られ、多くの参加者が興味深く聞き入っていました。



定例記者発表開始

大阪大学中之島センターにて、工学研究科と合同で、定例記者発表を開始しました。大阪大学の中でも特定の分野に縛られることなく「産業に必要な自然科学の基礎と応用」の研究を実践している産研と、約170の研究室を擁し、工学のあらゆる分野を網羅している工学研究科の両部局でタッグを組み、今後社会課題解決につながる最新の研究成果をより効果的に、リアルタイムで発信していきます。



淡路夢舞台国際会議場において第27回産研国際シンポジウムが開催されました。今回は、「人工知能とメタバース」をテーマに掲げ、最新の人工知能や情報技術を論じると共に、それらを産研が得意とするデバイス、情報、材料、量子ビーム、化学、生物、ナノテクノロジーにどうやって展開するかを探ることを目的としました。4年ぶりに淡路での開催となり、140名もの教職員と学生が参加し、3日間、熱い議論が行われました。



産研スキー合宿 @ 志賀高原

溝口理一郎 校長



さよなら 茶話会

沼尾正行教授と鷲尾隆教授がこのたび退職されました。長年にわたり教育と研究に多大な貢献をさせていただき、その功績は多くの学生や同僚に大きな影響を与えました。両教授のご指導のもと、多くの成果が生み出され、学問の発展に寄与しました。感謝の意を表するとともに、今後のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



いちよう祭・ 新人オリエンテーション

今年も SANKEN いちよう祭を開催しました。15の研究室や施設が出展し、今年も多くの来場者が賑わいました。



若手交流会

若手交流会が開催され、多くの若手研究者や学生が参加しました。参加者同士が自由に意見交換を行い、研究やキャリアについての活発な議論が交わされました。新しいネットワークの構築や情報共有の場として大変有意義な時間となり、参加者たちは今後の協力や交流の可能性に期待を寄せていました。



産研フットサルも復活！

大岩監督率いる初の女子チーム・SANKEN なでしこを結成！！残念ながら予選敗退でしたが、大いに盛り上がりました！優勝は、オープンラボの森研究室が4年ぶり二連覇を達成しました！



ものづくり 開 教室2024 講

今年も技術室がものづくり教室を開講しました。今回は「プログラミングでライトレーサを走らせよう！」というテーマで、描かれた黒い線に沿って走るライトレーサを製作しました。マイコンボードの micro:bit を用いて、プログラミングで制御・走行させました。アンケートでは、子供たちから「とても楽しかった」という声や、保護者の方から「貴重な体験ができてありがたい」といったたくさん的高評価をいただきました。

卒業生紹介～近況を報告していただきました～

今年度からの新たな取り組みとして、第1部門、第2部門、第3部門、ナノテクセンターから一人ずつ卒業生を紹介し、近況等を報告してもらうコーナーを設けることとしました。近況のみならず、在学時の思い出などなんでも自由に語っていただいています。次年度以降も続けていきたいと思いで、卒業生の皆さま、ご協力くださいますようお願いいたします。



第1研究部門

- 氏名: 宗像 北斗 さん
- 現職: LINEヤフー株式会社
- 在籍: 駒谷研究室

私は現在、LINEヤフー株式会社にてマルチモーダルAIに関する研究開発業務に勤しんでいます。中でも私の所属しているチームは動画処理の研究をしており、学生時代と変わらず実験と論文執筆に追われる日々を過ごしています。マルチモーダルな動画処理はまだまだ発展途上で、かつ私が学生時代扱っていた音響信号処理の知見も活かせる研究し甲斐がある分野です。こうした分野を切り開いていくため、チームには音、画像、自然言語のそれぞれの専門家が所属しており、分野間での交流も盛んで勉強になることが多いです。GAFAやOpen AIといったテック企業とも戦えるように日々タフに研究に打ち込む一方、ほとんどの勤務がリモートワークで、働き方は非常に自由です。

企業に入り、私が感じた企業と大学での研究におけるもっとも大きな違いは、ユーザーの距離です。企業での研究はよりユーザーとの距離が近く、自身の研究成果が直接サービスへと反映される点が魅力的です。提案したシステムが実際にサービスで扱うデータに対して良い性能を発揮した時にはとてもやりがいを感じます。

また最近ではコロナ禍も終息しつつあるため国際会議に現地参加できるようになり、現地の街を巡ったり料理を食べるのが楽しみの一つです。入社してから1年半でアイルランド、韓国、ギリシャでの会議に参加してきましたが、どの国も非常に良かったです。

第2研究部門

- 氏名: 春日 貴章 さん
- 現職: 大阪大学産業科学研究所・助教
- 在籍: 能木研究室



2017年4月～2022年3月まで、博士前期、後期課程を産研で過ごした後、2022年4月から助教として着任し、現在も引き続いて産研で研究を行っています。産研に来たばかりの頃は学生の少なさと若干ドライな雰囲気には驚いたものですが、慣れてくると非常に研究に集中しやすい環境と感じるようになりました。実際長く過ごしてみると、いちよう祭や産研フェスタ、学術講演会、産研シンポ、その他交流会や同好会などイベントも豊富で、所内での交流の機会も沢山設けられていることに気が付きます。来てしばらくは研究に必死でこういったイベントに気付けませんでした、今では勿体なかったかなと感じています。

所属している能木研究室は特に学生時代、留学生が多かったので留学生関係の思い出が沢山あります。何故か研究の事よりも食べ物の事ばかり思い出しますが、産研の周囲で「採取できる食材」が意外と多い事を教えて貰ったのも良い思い出です。筍掘りは有名ですが、栗や土筆、銀杏等も拾ってきて居室で楽しそうに食べていました(銀杏の臭いには流石に閉口しましたが)。どんな国でも、どんな場所でも、楽しみというものは見つけられるということを教えて貰いました。

私は現在、「空からばら撒けるセンサ」の実現に向けて、環境と調和した機能性材料、センサ、センシングシステムの開発に取り組んでいます。産研の研究者として恥ずかしくない成果を出せるように、これからも研究に邁進いたします。



第3研究部門

- 氏名: 曾宮 正晴 さん
- 現職: 大阪大学産業科学研究所・准教授
- 在籍: 黒田研究室

産業科学研究所第3研究部門黒田研究室の曾宮と申します。この度、産研同窓会誌に寄稿する機会を頂きましたので、2024年2月まで日本学術振興会の海外特別研究員として米国に2年間滞在した経験について紹介します。

滞在先はワシントン州シアトルにあるUniversity of WashingtonのInstitute for Protein Design (IPD)という、計算機を使ったタンパク質の構造予測・設計に特化した研究所です。滞在研究室のPIはNeil Kingという若手のAssistant Professorで、タンパク質自己集合ナノ粒子の設計とワクチンへの応用が専門です。滞在先で一番驚いたのは、資金面での充実です。米国では大富豪が大学に莫大な額を寄付する事がよくあるようですが、IPDにもそういった資金が潤沢にあり、研究員や大学院生はリソースを気にすることなく、失敗を恐れずに挑戦的な課題に取り組むことが奨励されていました。また、Neillはナノ粒子ワクチンの研究を、SARS-CoV-2ワクチンSKYCovioneとして実用化させ、2017年に設立したベンチャー企業IcosavaxはAstraZeneca社に11億ドルで買収されています。このように、豊富な資金源を背景に画期的な学術的成果を上げ社会実装に結びつけるという、米国のダイナミックな研究環境を目の当たりにすることができました。

2年間の留守を認めてくださいました、黒田教授には大変感謝しております。米国滞在で学んだことを、産研での研究に生かしていきたいと思っております。

ナノテクセンター

- 氏名: 森川 高典 さん
- 現職: MathWorks
- 在籍: 谷口研究室



この度はこのような近況報告の機会をいただきまして、ありがとうございます。私は2013年に谷口研第1期の修士学生として産研に加わり、2018年に谷口正輝教授の指導の下で博士課程を修了しました。当時の印象的な思い出として、谷口研1年目、同じく第1期の博士学生として加わった有馬彰秀さん(現 名古屋大学 特任講師)が、谷口先生に心の壁を感じているとの話を聞きまして、それを解決すべく、谷口先生にご協力いただき、サプライズで有馬さんの誕生日を祝ったことをよく覚えています。また、フットサル大会で准教授の筒井さんがアキレス腱を断裂し、翌日のJSTの新技术説明会で急遽代理発表を務めることになったのも忘れられません。

現在は、MathWorksというソフトウェア会社の日本法人でセールスアカウントマネージャーを務めています。縁あって大阪大学も担当しており、ソフトウェアやサービスの提供を通じて、大阪大学の研究や教育をより発展させる支援をしています。そのため、現在も産研に伺う機会があり、谷口先生をはじめ、大学院生当時お世話になった方にも引き続きお世話になっていますが、大学を相手にした仕事をしていると、運営が年々厳しさを増している現状を感じています。これからも、産研・谷口研で学んだことを活かしながら、仕事だけでなく寄附等も通じて大阪大学や日本の教育と研究の発展に寄与できるよう努めたいと思います。

卒業生紹介につきまして、自薦他薦を問いませんので、こんな仕事をしていることを紹介したい、こんな趣味に取り組んでいることを紹介したいなど、近況報告にご協力いただける方はぜひ事務局までご連絡ください。このコーナーがきっかけで他業種との繋がりが生じ、新たな研究開発の可能性が広がるなど、更なる産研同窓会のネットワーク拡大を目指したいと考えています。

第29代所長に黒田俊一教授が就任



産研同窓会の皆様

この度、2024年4月より大阪大学産業科学研究所の所長を拝命いたしました黒田俊一です。任期は2年間となりますが、この貴重な機会をいただき、皆様と共に産研のさらなる発展に向けて取り組んでいけることを大変光栄に感じております。これまでの産研の歴史と伝統を深く尊重しながら、次のステージへと産研を導くために、全力を尽くす所存です。

産研は、これまで数多くの優れた研究成果を上げ、世界に誇る学術機関として評価されています。私自身もこれまでのキャリアを通じて、この研究所の持つ素晴らしい研究環境や、革新的な研究に触れてきました。これからの2年間では、さらなる研究の深化だけでなく、新たな研究領域への挑戦にも力を入れていきたいと考えています。特に、世界を取り巻く社会課題の解決に向けた革新的な研究を推進し、産研全体の総合力を一層引き出すことを目指しています。

また、産研はこれからの時代に向けて、より一層の国際的な連携と産学官協力が求められています。産学連携を通じて、社会のニーズに応える研究を推進するとともに、若手研究者の育成にも注力し、次世代のリーダーを育てていきたいと思っています。

今後とも、皆様と共に、研究所の未来を築くために、産研の活動に引き続きお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

所長 黒田 俊一

同窓会長より



世界情勢・国内情勢の目まぐるしい変化、諸物価高騰にもかかわらずあまり上がらない給料、強烈な地球沸騰現象など激動の社会環境のなか同窓会の皆様お元気でお過ごしでしょうか？ 何事も自然の摂理、それに向かって賢く解決しながら明るく進んでいくのが大事ですね。

産研ホームカミングデイが11月22日(金)に開かれます。特別講演会には、阪大理事副学長で研究・国際(研究)担当の尾上孝雄先生にご講演いただけることになりました。社会が大きな変化を遂げつつある今、阪大として現在そして将来に向けてどのように進んでいくのか、その取り組みをお話いただけます。“産業科学研究所のこれから”を考えるためにも良い機会だと思います。皆様奮ってご参加ください。

産研同窓会は、産研の更なる発展と卒業生・現職員・学生の交流を深めるために新たな取り組みも始めました。いちよう祭、産研フェスタ、学術講演会・ホームカミングデイなど産研が関係する様々な行事への協力や今年は同窓会通信の発行に加えてFacebookとInstagramを始めました。産研関係の情報を広く発信していく予定です。

皆様、小さなことからでも進んで産研の発展を応援しましょう。

川合 知二

「大阪大学ファミリー2024オンライン交流会」

阪大ファミリーの皆さまにオンライン上で語り合っていただくイベントが開催されます。これまでは、卒業生・修了生が対象となっておりましたが、より多くの方々をつなぐイベントとするため、今年は対象を在学生・教職員に拡大し開催することです。詳細は下記特設サイトをご覧ください。

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/alumni/network/online_event

産研在籍中の大学院生、教職員、産研関係者の方はいつでも同窓会への入会が可能です。

入会方法については下記までお問い合わせください。

ご意見ご要望等のご連絡もお待ちしております。

産研同窓会 (SANKEN Alumni Association)

〒567-0047 大阪府茨木市美穂が丘8-1 / TEL:06-6879-8380/FAX:06-6879-8509

E-mail:DOUSOUKAI@sanken.osaka-u.ac.jp / URL:<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/dousoukai/>

